

I. ごあいさつ

阪神電車をご利用いただくとともに、阪神グループにご愛顧賜りまして、誠にありがとうございます。また、平素より当社鉄道事業の運営にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当社では、開業以来、「安全の確保」を最優先事項として位置づけ、安全管理体制の整備・改善に努めるとともに、お客様の安全確保に全力を尽くしてまいりました。今後も、これまでの安全への取組みを継続するとともに、更なる安全の向上に向けた努力を続けてまいります。

さて、平成 24（2012）年度の安全施策では、従来想定されていた地震の大きさや津波高が平成 23（2011）年度に見直されたことを受け、巨大地震・津波の発生を想定した非常時の対応を安全重点施策の一つに位置付け、取り組んでまいりました。津波被害が想定される河川上で実車両を使用した津波避難訓練を行うなど、お客様の避難誘導等における課題発掘を進め、ハード・ソフト両面での地震・津波への対策を推進いたしました。

また、平成 24（2012）年度は、施設の保安度向上に向けて、神戸市内及び西宮市内における連続立体交差工事や三宮駅及び甲子園駅における改良工事等の設備投資を実施しました。三宮駅では、ご利用いただくお客様の利便性向上を図るため、平成 19（2007）年より改良工事を実施し、本年 3 月に新しい駅として開業しました。この工事では、駅構内線路の配線変更によって乗継ぎ円滑化を図り、また東改札口新設によってJR及びポータルライナーとの乗換円滑化と火災時の2方向避難経路の確保を実現するなど、利便性ととも安全性が大きく向上いたしました。そして、甲子園球場の最寄り駅であり、プロ野球の開催時等に大変混雑する甲子園駅では、混雑緩和による安全性・快適性の向上とバリアフリー化を目指し、駅改良工事を進めているところです。

最後に、当社では平成 24（2012）年度におきましても、安全目標であった「責任事故ゼロの継続」を達成することができ、近畿運輸局長からは、27年11か月間の責任事故皆無に対する表彰を頂きました。お客様にとって安心・安全な鉄道であり続けるために、今後ともトップから現場まで全社一丸となって安全確保に取り組んでまいります。



阪神電気鉄道株式会社
取締役社長

藤原 崇 起

平成 25 年 7 月